



各位

福岡県北九州市小倉北区足立2丁目1番1号
株式会社 シダール
代表取締役社長 座小田孝安
(コード番号: 2435 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役管理本部長 下屋敷寛
電話番号 093(932)7005

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会におきまして、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を評価・分析を行い、改善に向けた方針について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 現状の評価・分析

直近5期の業績、ROE、PBR、PER、期末株価の推移は以下の通りです。

決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高(百万円)	15,132	15,613	15,749	16,442	17,304
経常利益(百万円)	257	674	△51	24	646
当期純利益(百万円)	209	387	△319	△276	203
PBR(倍)	1.51	2.32	1.56	2.15	2.59
ROE(%)	17.9	26.9	—	—	20.6
PER(倍)	9.14	9.62	—	—	13.80
期末株価(円)	167	325	161	171	250

当社は、わが国の介護保険を取り巻く環境を踏まえ、継続的な事業の拡大と、スケールメリットを追求することが、収益性、投資効率等の観点から重要であると認識しております。

これらを実現するためには、売上高経常利益率並びにROE(自己資本利益率)を主要な経営指標として位置づけております。

当社が試算した株主資本コストは6.8%程度であり、2024年3月期の自己資本利益率(ROE)は20.6%、株価純資産倍率(PBR)についても、継続的に1倍を超える水準を確保しておりますが、2022年3月期、2023年3月期においては、新型コロナの影響もあり当期純利益がマイナスとなり、2期連続で無配当としたため、株価につきましては、厳しい評価を頂いたと認識しております。

2. 方針および目標

現状分析・評価を踏まえ、当面の方針として2025年3月期の連結業績予想を達成することが最重要課題と考えております。収益面では、施設稼働率を維持・向上させるため、新規利用者の獲得とサービスの充実に努めてまいりる考えです。費用面では、事業の拡大に必要な介護人材の確保に取り組む一方で、IT投資等の職場環境の改善や老朽化した施設のリニューアル工事等も計画の範囲内で行うなど、安定的な利益確保を目指す考えです。

こうした方針に基づき、「3. 改善に向けた具体的取り組み」に記載した各取り組みを実施することで、売上高経常利益率及びROE（自己資本利益率）を引き上げ、企業価値や株価水準の向上を目指してまいります。

3. 改善に向けた取組

1) 利益計画の着実な実行

営業活動の更なる強化と利用者の満足度を高めていくことで、施設稼働率を引き上げ、収益力を確保してまいります。また、優秀な介護人材を育成・確保するためスキルアップ支援や職場環境の整備も利益計画の枠内で確実に実行してまいります。

2) 株主還元

株主還元については重要な経営課題のひとつとして認識し、将来の成長のための投資や事業展開の状況、経営成績、財務状態等のバランスを考慮しながら、利益計画の実現と共に、安定的且つ継続的な配当を実施できるよう努めてまいります。

3) IR活動の強化

当社の株価が低迷している一つの要因として、当社のIR活動が不十分であり、市場における認知度や期待度が低迷していることが原因だと認識しております。今後は積極的な情報開示に努めると同時に、様々な検討を行ってまいります。

以 上